

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

冬から春衣替えはいつ？

体感ではまだまだ寒い時期ですが、梅が満開になってくると春の訪れがすぐそこになります。気づいたら「今日、何だかすごく暑いね！」という日もちらほら出てくるこの時期は、そろそろ衣替えを意識し始める頃でもありますね。

これからの和とくポイント

袷・単衣・長襦袢の調節

洋服と違い着物の衣替えとなると「なんだか、決まりやルールがあって難しそう・・・」と思われがちですが、実は簡単なポイントさえ知ってしまえば振り回されることなく堂々と自分なりの衣替えを楽しむことができます。せっかく着物を着られるのなら肩肘はらず、もっと手軽に着物を着る回数を増やしたいです。

ひんやりと寒くて外出も控えていた冬から、ポカポカ陽気でお出かけするのも心地よい春の季節へ柔らかな空気やほのかに色づく木々の生命力など体感しながら、季節の変わり目を着物で愛でたら最高です。

冬から春の衣替えは6月1日に行うのが基本的なルールとされています。しかし、4月や5月でも暑い日は春用の単衣の着物でも大丈夫です。最近では20度前後で、冬用か春用の着物を着分けるという意見が多いですが、当日の朝に一旦外に出て体感で決めたり、20度を寒いと感じる人もいれば暑いと感じる人もいますし、その日の体調でも変わってきます。他にも、その日のコーディネート具合で「どうしてもこの着物が着たい！」と思うときは、多少外気と体温の相違があっても我慢して、袷を着たり単衣を着たりコーディネート重視で選ぶこともあります。もちろん、自分のルールの中で今日は自分のコーディネートを貫いても大丈夫と判断したお出かけの時です。袷を30度超えた4月や5月に着るのは無理でも、真冬に単衣でも工夫次第で防寒はいくらでもできます。

長襦袢にも冬用と春用と夏用があり、冬から春に変わる長襦袢の衣替えは着物と同じで6月1日です。長襦袢の場合は「袷や単衣」だけではなく少し掘り下げると、仕立て方の違いで下のように沢山の種類があります。

*胴裏+袖無双/胴裏+袖単衣

*居敷当+袖無双/居敷当+袖単衣

*裏無し+袖単衣

決まりや規則的には6月1日で衣替えですが、長襦袢こそ外から見て冬用か夏用か分かりづらいので、柔軟に考えて着物生地との兼ね合いで温度調節をするアイテムとして捉えれば、衣替えもしやすいですね。

着物の衣替え											
袷			単衣		薄物		単衣		袷		
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

春はあけぼの今日もきもの気分

着物・長襦袢
クリーニング
1日～8日の
キャンペーン中に！

やしま呉服店からのお知らせ

4月の催事・イベント

◎春のやしま祭り・・・29日(木)～5/2日(日)

◎MANAMIヨガ教室(土)・・・3・10・24日

日常の身体の疲労をほぐすのは
いかがでしょうか？
広々とした空間を開放して
スタートしました！



※各詳細のお問い合わせはお店まで

さくらきもの学院

きもでお出かけできる、
大人の女性を目指そう！

きものらくレッスン



◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>

◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>

※レッスンのお申込受付ます♪

・マンツーマンレッスン: 初等科6回

・1dayレッスン: 500円/回

※詳細はさくらきもの学院事務局まで